舞鶴小学校
学 校 通 信
文責
校長 小林史治

羽ばたく子

2020. 10. 8 №7

※学校だよりのタイトル『羽ばたく』は，甲府市出身の宮沢和史さんに作詞作曲していただいた，舞鶴小学校の校歌の歌詞の一節です。「ふるさとを愛し、羽ばたく子に」なって欲しいとの願いをこめてタイトルとしました。

運動会へのご協力ありがとうございました

２学期が始まってから、子ども達は運動会に向けた練習に日々熱心に取り組んできました。例年と異なり今年度の運動会は、「コロナウイルス感染拡大防止」と「熱中症対策」を前提に何もかもがゼロからのスタートでしたので、どの様に実施していくか試行錯誤の連続でした。当日は、降雨も心配されましたが、無事終了することができました。「心を一つにがんばろう　笑顔で楽しい運動会」のテーマのもと一人一人の子どもが運動会の主人公として、演技や競技に精一杯、自らの全力を尽くす姿はとても素晴らしかったです。

また、時間を区切っての総入れ替え制、人数制限など様々なお願いをしたのにもかかわらず、保護者の皆様には、整然と観覧場所へ移動していただいたり、終了後はテントなどの撤収に大勢の皆様にご協力いただいたりと、「子ども達の見本となるような素晴らしい姿」を見せていただきました。さすが舞鶴の子の保護者だと心より感嘆しました。

これからも、保護者の皆様には、ご不便やご心配をおかけしますが、引き続きご理解とご協力をお願いいたします

第１部「低学年」

１番は、「１年生　よういどん！」。子ども達の中には、ピストルの大きな音に驚いて、分かっていてもスタートが切れない子が出てくるのですが、どの子も緊張感に負けず、前を向いて全力でゴールまで走りきりました。

２番は、「２年生　ゴールをめざせ！」。リングバトンをもらったらコーンをまわってパスをします。１年生よりも距離が伸びただけでなく、いかにコーンを早く回りバトンを早く渡すかが勝負の分かれ目でした。

３番は、「低学年　ドラえもん＆ゴリラッパンダ」。どの子も曲に合わせて、一生懸命に踊ったり隊形を変えたりして、しっかり表現できました。低学年なので、かわいい仕草が映えるのですが、特に「ゴリラッパンダ」は、山梨大学の中村先生の監修だけあって、ジャンプもあるなど低学年の子ども達にとっては、かなりの運動量でした。

第２部「中低学年」

１番は、「３年生　令和２号　まいづるタイフーン」。二人で棒を持ちながら、内側の子は早く回れるように引っ張り、外側の子は飛ばされないようにしっかりとつかまりながら全速で走りました。

２番は、「４年生　運も実力のうち？！」。２本の棒に挟むのは、段ボールかボールか？引いたカードが記した荷物によって走る速さも変わりましたが、荷物を落としても素早く拾う姿は素晴らしかったです。

３番は、「中学年　まいづるソーランＲ２」。はっぴを着た子ども達は、「かけ声高く」ソーラン節のリズムに合わせて力強く踊りました。特に、腰を落として網を引く姿は、本物の漁師さんのようでした。

第３部「高学年」

１番は、「５年生　舞鶴の関所破り」。関所の番人がジャンケンをして負けたら通行人を通すのですが、なかなか番人がジャンケンに強く、次のメンバーにバトンパスができず苦労していました。

２番は、「６年生　GO ！ GO ！ラケット！」。二人でラケットにボールを挟み運ぶのですが、ハードルをまたいだりポールをくぐったり、障害物があっても息を合わせて走りました。

３番は、「高学年　STEP　BY　STEP」。今年度は、接触のある組み体操は避けて、一人一人の出せる技や、一人・集団での縄跳びなどを組み合わせての表現となりました。クロスする行進や２本の縄を使ってのダブルタッチはとても難しいのですが、子ども達は笑顔の中、全力を出し切りました。

運動会に向けて、友達と支え合いながら取り組んできたあゆみは、必ずや子ども達の「思い遣る心」を醸成し「羽ばたく力」になってくれるものと思います。運動会のみならず、これからも子ども達は、様々な場面で舞鶴小の友とともに、力強くあゆんでくれると思いますので、子ども達へのご支援をお願いいたします。

HP には、子ども達の学校での様子も載せてありますので、こちらもご覧下さい。